

西暦 和暦 水害事象

* 誘因 関連

- 887 仁和3 山崩壊 山河溢れ 千曲川流域六郡の城漂流 * 諸国大地震(7月)
- 1543 天文12 千曲川大洪水 船山郷流される
- 1608 慶長13 千曲川大洪水 河道変更著しい
- 1608 慶長18 千曲川大洪水 田畑流失 溺死者多し 慶長19との記述もあり
- 1620 元和6 千曲川大洪水 塩崎村水防の揚柳植樹
- 1624 寛永1 千曲川大洪水(4.6月)
- 1627 寛永4 千曲川洪水 屋代・雨宮被害
- 1631 寛永8 佐野川出水 北国西街道破壊 桑原村一里塚流失
- 1635 寛永12 千曲川洪水 稻荷山極楽寺危険となり移築 寛永14との記録もあり
- 1650 慶安3 千曲川増水 塩崎一丈三尺(約4m) 増水、田畑被害大
- 1658 万治1 千曲川・犀川洪水 綱島村被害大
- 1662 寛文2 千曲川・犀川洪水 真島・川合村浸水
- 1670 寛文10 千曲川増水 被害大
- 1674 延宝2 千曲川洪水
- 1680 延宝8 千曲川洪水 八幡町裏浸水、塩崎一丈二尺(約3.5m)増水、沿岸田畑人家冠水
- 1683 天和3 千曲川・犀川洪水 被害大
- 1689 元禄2 千曲川洪水 沿岸被害大
- 1694 元禄7 稀有の大暴風雨 家屋樹木倒れ千曲川氾濫 豪雨出水
- 1698 元禄11 千曲川洪水 塩崎一丈六尺(約6m) 増水、被害甚大
- 1701 元禄14 千曲川・犀川大洪水 塩崎村川欠
- 1702 元禄15 千曲川洪水
- 1705 宝永2 千曲川・犀川洪水 真島村梵天浦堤防破れ浸害
- 1709 宝永6 千曲川洪水 栗佐村被害大
- 1717 享保2 千曲川洪水 被害大
- 1719 享保4 千曲川大洪水 被害大 *亥の満水
- 1721 享保6 千曲川洪水 塩崎松節堤防決壊 田畑流失(7月)、8月にも千曲川洪水
- 1728 享保13 千曲川大洪水
- 1731 享保16 千曲川増水 松代城内馬場水没
- 1742 寛保2 集中豪雨(7/28~8/1) 千曲川その他氾濫 被害甚大 *戌の満水
- 1757 宝暦7 千曲川・犀川大洪水 塩崎村増水一丈五尺(約5.5m)
- 1765 明和2 豪雨のため千曲川・犀川大洪水 佐野川氾濫 稻荷山村水田被害
- 1768 明和5 降雨多く(5月) 小坂山崩落 佐野川堤防決壊
- 1769 明和6 千曲川洪水 栗佐村被害、佐野川堤防五ヵ所決壊(9月)
- 1772 安永4 千曲川洪水(7月)、8月にも千曲川洪水
- 1772 安永8 千曲川洪水 上山田村被害
- 1781 天明1 千曲川洪水 栗佐村被害
- 1783 天明3 千曲川洪水 * 浅間山噴火降灰(7/2~7/8) 冷夏 天明の飢饉(天明7年まで)
- 1784 天明4 千曲川洪水
- 1786 天明6 降雨多く洪水(5~7月)
- 1789 寛政1 千曲川・犀川大洪水 力石村荒地、丹波島村流失
- 1790 寛政2 千曲川洪水 上山田村・塩崎村被害 塩崎村堤防崩れ 復興工事に31万人
- 1791 寛政3 千曲川洪水 8月に二回
- 1792 寛政4 千曲川、佐野川出水(7月)
- 1794 寛政6 千曲川洪水 塩崎村堤防崩れ中川原、鎌成堂川筋となる
- 1802 享和2 大雨 千曲川洪水
- 1804 文化1 霖雨(ながあめ) 八幡村土石流人家破壊(6月)、8月に千曲川洪水
- 1807 文化4 地震と長雨水害あり 参勤交代足止め 徳間・寂蒔・杭瀬下・栗佐村大被害 佐野川洪水
- 1822 文政5 千曲川洪水 上徳間村畑流出
- 1823 文政6 千曲川・犀川大洪水 力石村大被害、上山田田畑荒地(8月) *6月千曲川干上がる
- 1824 文政7 千曲川洪水 松代西寺尾床上浸水
- 1825 文政8 千曲川洪水 千本柳・上徳間村 人家流失被害大
- 1828 文政11 大暴風雨 山崩れ千曲川洪水河岸堤防決壊 上徳間・千本柳・寂蒔 家屋流失 佐野川出水
- 1829 文政12 千曲川洪水
- 1831 天保2 融雪のため千曲川増水被害

1832 天保 3 長雨 千曲川洪水
 1834 天保 5 佐野川出水(6 月)
 1836 天保 7 千曲川・犀川大風雨のため大洪水 聖川土石流災害
 1841 天保 12 千曲川洪水坂木被害
 1842 天保 13 佐野川出水 両岸築堤
 1845 弘化 2 聖山豪雨 聖川堤防塩崎で決壊 桑原村山抜け、沢荒れ土砂泥水 人家全半壊死者負傷者多数
 1847 弘化 4 蟹澤川出水。犀川潰決し千曲川逆流 松代まで侵入 *善光寺地震 *幕府千曲川の堤防を築く
 1850 嘉永 3 千曲川洪水 塩崎村水量一丈三尺(約 4m)
 1855 安政 2 千曲川洪水 塩崎村浸水 丹波島堤防決壊
 1857 安政 4 千曲川洪水
 1859 安政 6 千曲川犀川氾濫 戸倉大西堤防決壊 千本柳村下河原堤防決壊 桑原村佐野川本支流横溢
 1860 万延 1 千曲川洪水 村上地方浸水(5 月) 千曲川洪水 上戸倉村千間土堤決壊 大西耕地・黒彦河原流失
 1865 慶応 1 千曲川・犀川洪水(45 月) 千曲川洪水 八幡村堤防決壊 町裏 神領河原本流となる
 1867 慶応 3 千曲川出水 真島村堤防 600 間(約 1km)流失 水量 25 尺(7.5m)
 1869 明治 2 千曲川・犀川洪水
 1870 明治 3 千曲川・犀川洪水
 1872 明治 5 千曲川洪水
 1874 明治 7 千曲川洪水 真島村被害
 1875 明治 8 千曲川洪水(7、9 月)
 1881 明治 14 桑原佐野川本支流溢れ荒地 (9 月 14 日)
 1882 明治 15 千曲川洪水(9 月) 千曲川大洪水(10 月) 松節堤防決壊
 1883 明治 16 千曲川増水 沿岸大浸水
 1885 明治 18 千曲川大洪水(6、7 月) 雨宮から東寺尾被害大
 1889 明治 22 千曲川洪水 八幡・稲荷山・塩崎・小島田被害(7 月) 千曲川洪水(9 月) 松節堤防決壊
 1890 明治 23 千曲川大洪水
 1892 明治 25 千曲川洪水 稲荷山 塩崎浸水
 1894 明治 27 千曲川洪水(5 月) 稲荷山 2 回浸水(8 月)
 1895 明治 28 千曲川洪水
 1896 明治 29 千曲川氾濫
 1898 明治 31 千曲川洪水 稲荷山小学校被災(9 月)
 1899 明治 32 千曲川洪水
 1902 明治 35 犀川・千曲川洪水(7 月) 千曲川洪水(9 月)更科・埴科被害
 1904 明治 37 千曲川洪水(7 月)埴科郡下一町七カ村浸水
 1906 明治 39 千曲川洪水
 1907 明治 40 千曲川洪水
 1908 明治 41 千曲川洪水 上山田温泉被害
 1910 明治 43 千曲川洪水 更埴床上浸水 4000 戸以上
 1918 大正 7 千曲川改修工事(犀川合流点付近より上流へ向けて開始) 10 年継続
 1922 大正 11 千曲川洪水 松代方面被害
 1945 昭和 20 犀川千曲川洪水 死者 42 人、床上浸水 2204 戸、床下浸水 4843 戸など甚大な被害
 1949 昭和 24 キティ台風による洪水、全壊家屋 45 戸、半壊家屋 187 戸、浸水家屋 1478 戸
 1958 昭和 33 台風 21 号により中小河川が氾濫決壊、死者 9 名、全壊家屋 9 戸、半壊家屋 62 戸、家屋流出
 1959 昭和 34 長野県を縦断した台風 7 号、戦後最大の洪水、死者・行方不明者が 65 人、浸水は 20600 戸
 1961 昭和 36 千曲川流域の死者 107 人、全壊家屋 903 戸、床上浸水 3170 戸
 1981 昭和 56 昭和 34 年以来の大洪水、死者 11 人、床上浸水 4906 戸、床下浸水 3683 戸
 1982 昭和 57 梅雨前線による降雨、台風 10 号、18 号による洪水、立ヶ花 s34 年に次ぐ戦後第 2 位の規模。
 1983 昭和 58 台風 10 号による洪水、千曲川が破堤、被害家屋約 6,600 戸、立ヶ花で既往最高水位を記録
 1995 平成 7 梅雨前線による洪水、千曲川下流部を中心に大雨。家屋浸水 765 戸、J R 飯山線に大きな被害
 1999 平成 11 熱帯性低気圧による洪水、死者 1 名、浸水家屋 779 戸、道路寸断、列車運休多発
 2004 平成 16 台風 23 号による洪水、立ヶ花において既往第 4 位の水位を記録、浸水家屋 139 戸 東小浸水
 2006 平成 18 7 月梅雨前豪雨による洪水、立ヶ花既往第 2 位の水位、避難勧告 4 市 11 地区
 2019 令和 1 台風 19 号による洪水堤防決壊 土口雨宮堤防越水、尾米川、更級川等氾濫、床上浸水家屋多数

参考資料: 更級埴科地方歴史年表(昭和 56. 2. 10 発行)

稲荷山四百年の歩み(昭和 49. 4. 20 発行)

国土交通省 千曲川河川事務所ホームページ(2019)